



おともがわ

学校報 NO. 18

保護者版

令和元年 9月 6日

みんなで育む豊かな心・健やかな体・確かな学力

全国学力学習状況調査 内小友小学校の結果から

4月に行われた全国学力学習状況調査の結果については、7月に各都道府県毎の状況が公表され、今年も秋田県が全国のトップクラスであることが報道されました。

先月末に各学校毎の結果も送付されましたので、内小友小学校の状況につきまして説明いたします（この調査は、あくまでも児童個々の学習状況等確かめることが主旨でありますし、調査対象が6年生だけであることから、必ずしも内小友小学校の実態とは一致しないこともあるかとは思いますが、ご了承ください）。

はじめに各教科毎の平均正答率は次の表

	国 語	算 数
内小友小	76.4	73.6
秋 田 県	74.3	70.7
全 国	63.8	66.6

のとおりでした。国語・算数ともに全国平均・秋田県平均を上回っており全体と

してみると良好な状況といえます。

次に各教科の中で見えた得意・不得意な領域等を次の表に示します。

	国 語	算 数
+	言語についての知識・理解	数学的な考え方
-	書く能力	数量や図形についての知識・理解

具体的には国語で良好な結果を示した「言語についての知識・理解」では「漢字の書き取り」や「ことわざの使い方」「接続詞の使い方」などが優れていました。反対に苦勞していた「書く能力」では「相手に分かりやすく伝える工夫」や「自分



の考えの理由を明確にして、まとめて書く」ことが十分ではありませんでした。

算数で良好な結果をしめした「数学的な考え方」では「例をもとに、その考え方を応用する」「単位量あたりの大きさを基に判断する」といった点に優れ、苦勞していた「数量や図形についての知識・理解」では特に「割り算の式の意味の理解」が十分ではないという結果となっていました。



問題との相性もあるとは思いますが、今回課題として見つかった国語の「書く能力」、算数の「数量や図形についての知識・理解」については、この後、先生方と話し合いながら、その克服に向けて取り組んでいきます。

また、同時に実施した「児童質問紙」（『朝起きる時間や就寝時刻、朝食の摂取』といった生活習慣、『授業で学んだことを他に生かす』といった学習習慣、『いじめは絶対にいけない』といった規範意識などに関する質問）でも、ほとんどの項目で、全国・全県平均を上回っており、良好な結果となっていました。

この調査は、小学校でつけておきたい力がどの程度身につけているかを測るためのものです。今回の調査結果も参考にしながら、一層の向上に努めて行きます。

以上ご報告いたします。

バイキング給食(6年生)

6年生が、バイキング給食を行いました。普段の給食とは違い、たくさんのメニューの中から選んで食べました。おなか一杯食べて、満足の6年生でした。

